

パルパー導入による 国際認定商材専用の生産体制の確立

課題 *Issue*

白河だるまのブランドを 揺らぎのないものに

伝統工芸品産業は、需要の減少と海外からの安価な輸入品の増大により価格競争が発生し、利益縮小傾向にあります。だるま産業においてもベトナムや中国からの輸入品が増大し、現状では品質が低いものの年々差が縮まっています。将来的な対応として、製品の新たな付加価値の増強と差別化する方向性を打ち出すことが必要と考えていたところへ、製紙関連の取引先企業から、だるまの原料となる回収紙を使用し環境に配慮しただるまの製作ができないかとの依頼がありました。そこで、新たな事業として国際認証紙を材料として作られた、白河だるまの絵付けキットの製造を開始しました。

実施内容 *Measures*

製造ラインをリニューアルし 無駄を取り除く

国際認証紙商品を製造する小型パルパー内に、国際認証紙製品以外の材料が混入してはならない。そのため、使用していた原料の破棄やパルパー内や貯蔵タンク内の掃除を行うのに約8時間を要していました。しかも原料ロスの発生で、工程管理に大きな負担が掛かっています。また、この小型パルパーは処理能力が低く、国際認証紙を液状にするのが難しいという欠点がありました。これらを改善するため、新規で国際認証紙専用パルパーを導入し、専用の製造ラインの確立を図りました。これにより、製造工程における無駄をなくし、物的・人的なロスの削減を目指しました。

成果 *Results*

国際認証紙の生産は専用の ライン化で円満解決

国際認証紙を材料としただるまの生産ラインを確立することができ、従来の製造ラインに比較して原料処理の全製造工程において約4倍の処理が可能となりました。また、新設備では専用ラインを確立したことで原料の入替工程がなくなり、パルパーの清掃に要する時間が8時間を要していたものが皆無になるとともに、清掃時に発生していた処分が必要な原料ロスを約100%削減し、加えて、原料処理に要する時間も現状と比較して約75%削減できることも確認できました。これにより、生産性の向上の目的が立ち、かつ、新規顧客を増加させて売上増につなげる体制が整いました。



当社の事業内容

福島県の伝統工芸品に指定されている「白河だるま」の製造および販売を行っています。歴史は古く、江戸中期に初代半次郎が瓦屋として創業。その後、江戸末期（約300年前）に「白河だるま」の製作を始めたのが発祥です。江戸時代において、紙はとても貴重なもので、無駄にするという概念は無かったため、城下で使用された紙の再利用として「白河だるま」は製造されていました。以来、「白河だるま」は再利用の精神、エコフレンドリーの考えに基づいて製造され、地域の人々に親しまれ続けています。白河市内に2拠点の工場（萱根第一工場・八竜神第二工場）を構え、同市中心市街地である横町に、観光客の受け入れを行える建物の整備を行っています。

今後の展望 *Future outlook*

伝統工芸品の現状の打開へ向けて、先鞭をつける

だるまの原点に立ち返り環境に配慮した取り組みの一環として、回収紙や廃棄紙をリサイクルした環境配慮型だるまの絵付けキットの製造を推進し、SDGsを基軸とした環境への配慮を大切にする層のさらなるニーズの把握に努めます。また、製品の改善、販売チャネルの見直し、拡大およびアフターサービスの提供などを通じて顧客満足度を高め、当社の収益に貢献する事業の柱にすることを目指します。販売方法としては、自社ECサイトの開設やポップアップイベントの開催、子供に人気のあるカプセルトイを使用したキッズイベントや国内外の展示商談会への出展を試み、さらには外国人旅行者や修学旅行者向けの体験型商品としても活用していきます。これら付加価値を生み出す働きかけは、コモディティ化している市場から脱出する先駆的事例となり得ると考えています。



代表取締役 渡邊守栄

会社概要 *Company introduction*

有限会社 幸栄

〒961-0901 福島県白河市明戸 81
TEL. 0248-22-7060 FAX. 0248-27-0888

●代表者 代表取締役 - 渡邊守栄 ●設立 平成3年4月
●資本金 300万円 ●従業員 16名
●URL <http://www.shirakawadaruma.com/>



販売店舗：白河だるま総本舗「渡辺だるま店」